＜様式1＞

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	「湘南プレミアハウス」
グループの名称	湘南プレミアハウス連絡協議会
直近採択グループ番号	04-0499-0295

（グループ代表者）

代表者名	磯田　賢吾　代表者印
代表者所属先	株式会社イソダ
代表者所在地	神奈川県鎌倉市腰越4-9-7
代表者電話番号	04-6731-9246

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社市川屋
事務局担当者名	市川　信也　印
事務局郵便番号	243-0121
事務局所在地	神奈川県厚木市七沢305
事務局電話番号	04-6248-0231
事務局FAX	04-6248-4160
事務局担当者E-mail	zaimokuya@gd6.so-net.ne.jp

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	「湘南プレミアハウス」
２．グループの名称(必須)	湘南プレミアハウス連絡協議会
３．直近採択グループ番号(必須)	04-0499-0295
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	神奈川県・東京都・静岡県・千葉県
５．結成年(必須)	2012　年
６．グループ代表者名(必須)	磯田　賢吾
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社イソダ
８．グループ代表者所在地(必須)	神奈川県鎌倉市腰越4-9-7
９．グループ代表者電話番号(必須)	04-6731-9246
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社市川屋
１１．グループ事務局担当者名(必須)	市川　信也
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	243-0121
１３．グループ事務局所在地(必須)	神奈川県厚木市七沢305
１４．グループ事務局電話番号(必須)	04-6248-0231
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	04-6248-4160
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	zaimokuya@gd6.so-net.ne.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	3	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	2	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	2	
Ⅳ．プレカット	1	
Ⅴ．設計	16	
Ⅵ．施工	17	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	1	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	全国		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	国外		3	国外
	■　PEFC認証制度を利用する	国外		2	国外
	■　SGEC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FIPC認証制度を利用する	全国		2	国内
	かながわ県産木材	神奈川県	かながわ県産木材産地認証制度	1	国内
	かながわブランド県産木材	神奈川県	かながわブランド県産木材品質認証制度	1	国内

B．平成２９年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型（長期優良住宅） **経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		26	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	26	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	4	戸
		申請が未確定（上限100万円）		35	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	35	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	4	戸
	長寿命型（長期優良住宅） **未経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型 （認定低炭素住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		4	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	4	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型 （性能向上計画認定住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **経験**工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	申請が確実（上限150万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限150万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **未経験**工務店（4戸（8戸）未満）による申請戸数	申請が確実（上限165万円）		2	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限165万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	1	戸

C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	12	棟
			1317	㎡
		申請が未確定	16	棟
			1689	㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	配分希望があった会社より順次、配分する。

E. 平成２８年度の執行状況（必須）

長寿命型（長期優良住宅）

当初予算	採択戸数	30	戸	交付申請戸数	30	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	30	戸
補正予算	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	4	戸

高度省エネ型（認定低炭素住宅）

当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）

当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）

当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸

優良建築物型

当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
当初予算	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅰ＞

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
14	Ⅰ － 6	神奈川県森林組合連合会		259-1332	神奈川県秦野市菖蒲317番地	0463-88-6767
14	Ⅰ － 7	秦野市森林組合		259-1301	神奈川県秦野市羽根988番地	0463-75-3351
14	Ⅰ － 8	厚木市森林組合		243-0121	神奈川県厚木市七沢237	046-248-0005
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
27	Ⅱ － 9	林ベニヤ産業株式会社		541-0041	大阪府大阪市中央区北浜4-8-4	066-228-1401
14	Ⅱ － 11	株式会社市川屋		243-0121	神奈川県厚木市七沢305	046-248-0231
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
14	Ⅲ － 6	神奈川県森林組合連合会		259-1332	神奈川県秦野市菖蒲317番地	0463-88-6767
14	Ⅲ － 11	株式会社市川屋		243-0121	神奈川県厚木市七沢305	046-248-0231
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
14	Ⅳ － 11	株式会社市川屋		243-0121	神奈川県厚木市七沢305	046-248-0231
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ｖ＞

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
14	Ｖ － 14	神奈川エコハウス 株式会社		251-0044	神奈川県藤沢市辻堂太平台２－１１－５	0466-33-5311	○	
14	Ｖ － 19	株式会社イソダー級建築士事務所		248-0033	神奈川県鎌倉市腰越4-9-7	0467-31-9246	○	
13	Ｖ － 20	新井建設一級建築士事務所		192-0032	東京都八王子市石川町2610	042-648-6400	○	
14	Ｖ － 21	井戸川設計事務所		259-1145	神奈川県伊勢原市板戸799	0463-94-0025		○
14	Ｖ － 22	株式会社エバーグリーンホーム一級建築士事務所		253-0054	神奈川県茅ヶ崎市東海岸南1-1-1	0467-88-3403	○	
14	Ｖ － 23	一級建築士事務所オフィス・アースワーク		221-0834	神奈川県横浜市神奈川区台町16-1-802	045-314-5360		○
14	Ｖ － 24	株式会社興建一級建築士事務所		211-0065	神奈川県川崎市中原区今井仲町2-2	044-733-2325	○	
14	Ｖ － 25	有限会社三陽工務店二級建築士事務所		252-0304	神奈川県相模原市南区旭町11番8号	042-742-0293	○	
14	Ｖ － 26	有限会社清友建築事務所		251-0047	神奈川県藤沢市辻堂5-10-21	0466-30-4788		○
14	Ｖ － 27	瀬戸建設株式会社一級建築士事務所		250-0055	神奈川県小田原市久野2267	0465-34-7711	○	
14	Ｖ － 28	株式会社高井工務店二級建築士設計事務所		259-1143	神奈川県伊勢原市下糟屋1312	0463-95-8141	○	
14	Ｖ － 30	株式会社マイホーム企画室		259-1138	神奈川県伊勢原市神戸488-6	0463-94-1015		○
14	Ｖ － 31	MIO設計		256-0803	神奈川県小田原市中村原138	0465-43-0184		○
14	Ｖ － 32	ミドリー級建築士事務所		252-0239	神奈川県相模原市中央区中央4-5-9	042-756-3611	○	
14	Ｖ － 33	株式会社三春情報センター二級建築士事務所		234-0051	神奈川県横浜市港南区日野8-8-11ミハルアート	045-890-5560	○	
14	Ｖ － 34	湘南マイホームサービス 株式会社		250-0117	神奈川県南足柄市塚原３７３７－６	0465-74-1125	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							17	○	○
14	Ⅵ － 1	42542	横浜テクノ建設 株式会社		241-0826	神奈川県横浜市旭区東希望が丘100	04-5362-5698	○	
14	Ⅵ － 2	42625	株式会社 緑建設		252-0239	神奈川県相模原市中央区中央4－5－9	04-2756-3611	○	
14	Ⅵ － 3	42431	株式会社興建		211-0065	神奈川県川崎市中原区今井仲町2番2号	04-4733-2325	○	
14	Ⅵ － 4	42528	株式会社 エバーグリーンホーム		253-0054	神奈川県市東海岸南1－1－1	0467-88-3403	○	
14	Ⅵ － 5	42459	瀬戸建設 株式会社		250-0055	神奈川県小田原市久野2267	0465-34-7711	○	
14	Ⅵ － 12	42527	株式会社 中和工建		259-1112	神奈川県伊勢原市東富岡263－2	0463-91-7041	○	
14	Ⅵ － 13	42357	株式会社 高井工務店		259-1143	神奈川県伊勢原市下糟屋1312	0463-95-8141	○	
14	Ⅵ － 14	42300	神奈川エコハウス 株式会社		251-0044	神奈川県藤沢市辻堂太平台2－11－5	0466-33-5311	○	
14	Ⅵ － 15	42299	有限会社 三陽工務店		252-0304	神奈川県相模原市南区旭町11－8	042-742-0293	○	
14	Ⅵ － 16	42283	株式会社 イソダ		248-0033	神奈川県鎌倉市腰越4－9－7	0467-31-9246	○	
14	Ⅵ － 17	42414	株式会社 三春情報センター		234-0051	神奈川県横浜市港南区日野8－8－11 ミハルアート	045-890-5560	○	
14	Ⅵ － 18	42470	松尾建設株式会社		253-0054	神奈川県茅ヶ崎市東海岸南3－1－15	0467-85-7118	○	
14	Ⅵ － 34	42458	湘南マイホームサービス 株式会社		250-0117	神奈川県南足柄市塚原3737－6	0465-74-1125	○	
14	Ⅵ － 35	42611	立原建築		243-0206	神奈川県厚木市下川入503－8	046-245-0853	○	
14	Ⅵ － 36	42277	有限会社 井戸川工務店		259-1145	神奈川県伊勢原市板戸799	0463-94-0025		○
14	Ⅵ － 37	42297	株式会社タウンズホーム		251-0044	神奈川県藤沢市辻堂太平台2－1－12	0466-30-2311	○	
13	Ⅵ － 38	42093	有限会社 新井建設		192-0032	東京都八王子市石川町2610	042-648-6400	○	
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成28年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用実績		被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち木造認定低炭素住宅の実績		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	○	○			
14	Ⅵ － 1	42542	横浜テクノ建設　株式会社	2 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
14	Ⅵ － 2	42625	株式会社　緑建設	3 戸	3 戸	2 戸	3 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	○	○			
14	Ⅵ － 3	42431	株式会社興建	1 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
14	Ⅵ － 4	42528	株式会社　エバーグリーンホーム	24 戸	25 戸	4 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	692 ㎡	692 ㎡	○				
14	Ⅵ － 5	42459	瀬戸建設　株式会社	12 戸	13 戸	1 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
14	Ⅵ － 12	42527	株式会社　中和工建	2 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
14	Ⅵ － 13	42357	株式会社　高井工務店	23 戸	18 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	
14	Ⅵ － 14	42300	神奈川エコハウス　株式会社	21 戸	22 戸	19 戸	20 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
14	Ⅵ － 15	42299	有限会社　三陽工務店	27 戸	21 戸	5 戸	3 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○	○		○	
14	Ⅵ － 16	42283	株式会社　イソダ	20 戸	23 戸	15 戸	10 戸	2 戸	1 戸	2 戸	1 戸	㎡	㎡	○	○		○	○
14	Ⅵ － 17	42414	株式会社　三春情報センター	22 戸	20 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
14	Ⅵ － 18	42470	松尾建設株式会社	12 戸	34 戸	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○	○			
14	Ⅵ － 34	42458	湘南マイホームサービス　株式会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
14	Ⅵ － 35	42611	立原建築	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
14	Ⅵ － 36	42277	有限会社　井戸川工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
14	Ⅵ － 37	42297	株式会社タウンズホーム	15 戸	18 戸	10 戸	12 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1,293 ㎡	1,590 ㎡	○	○		○	○
13	Ⅵ － 38	42093	有限会社　新井建設	3 戸	2 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
13	Ⅷ － 10	ジャパン建材株式会社		136-8405	東京都江東区新木場1丁目7-22	03-5534-3711
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）「湘南プレミアハウス」	（地域型住宅供給対象地域）神奈川県・東京都・静岡県・千葉県
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称）湘南プレミアハウス連絡協議会	（結成年）2012　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0499-0295	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	（1）<耐震性>神奈川県に中長期的に予想されている震災に備えた強固な住宅。 （2）＜地域材・国産材＞地元神奈川県より出材する木材を利用した「神奈川の木」にあふれた住宅 （3）＜省エネ性能＞湘南の温暖な気候的恩恵を最大限に利用する省エネ性能の高い住宅 （4）更に高度な省エネ性能を持つ認定低酸素住宅 （5）一次エネルギー消費量が0となるゼロエネルギー住宅 （6）高度な省エネ性能を持つ優良建築物。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	（1）グループで従来より使用している「直下率基準（壁60%・柱40%）＋耐震等級2以上」もしくは耐震等級3以上、もしくは「構造計算＋耐震等級2以上」を基準として、いずれかの条件を満たすことが必要。そのことで一定以上の耐震性能を担保する。 （2）構造材の50%以上の木材に神奈川県産木材を使用すること。 （3）長期優良住宅の基準である省エネ性能（断熱等性能等級4）を満たすこと。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	（1）内装仕上材の一部に地域材である「かながわ県産木材」を使用する。 （2）海岸近隣の住宅を建築の際は塩害対策を行うこと。 （3）古都「鎌倉」を地域内に抱えることを勘案し、積極的に「和風テイスト」を取り入れる努力を行う。 （4）住宅の外溝の緑化に努め、長期にわたり環境緑化に努力する。	○
④ ①～③の背景	グループ構成員の多くの企業が拠点を置く、神奈川県湘南地方の特徴は次の通りである。 ①湘南地方のイメージは「海」である。日本で最初の海水浴場を抱える等稀有な地域である。海を中心とした温暖な気候等、気候的に恵まれた地域である。②湘南地方には古都「鎌倉」が存在し、日本古来の社寺建築等、日本固有の建築文化をはじめ、伝統文化が受け継がれている。③藤沢市には数年前に湘南サスティナブルタウン（SST）が新設される等、最先端の住宅都市が建設されている。④将来的に大規模災害（地震）が予見される地域である。⑤神奈川県は県土の4割が森林であるが、都心のベッドタウンとしての性格が強い。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	①湘南の特徴である「海」と神奈川県土の40%を占める「山」を結ぶコンセプトを大切にした住宅建築を目指す。 ②古都「鎌倉」の文化的背景を理解し、和風デザインを積極的に取り入れる。 ③湘南地方の気候的恩恵を最大限に生かした小エネルギー住宅を建築する。 ④子育てを容易にするような3世代同居可能な間取りを工夫する。	○

イ．効率的な住宅生産体制の整備

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：構造材のうち土台・柱については神奈川県産の「丹沢桧」105mm角か120mm角を利用する。構造用合板については、神奈川県産のBCレベル原木を利用した「丹沢・箱根ヒノキ合板」12mm、24mmを使用する。内装材にも神奈川県産材製品を利用する。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：高度省エネ型住宅についてはグループ内でワーキンググループを設置し、設計や使用部材の規格化・統一化を進められるか検討し、可能であれば行う。	○
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：構造用合板や内装仕上合板に「丹沢・箱根ヒノキ合板」を利用する。認定低炭素住宅においては雨水利用のための設備の統一化を図り、標準仕様化する（認定低炭素住宅のみの要件）	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：使用する木材についてはメンバーの㈱市川屋で製材・プレカットを行う。そうすることで実質的な共同調達の如く、流通経路が極端に合理化されており、本来は難しい需給調整が可能である。	◎
	②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない	□ 行っている→	内容：	
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：1－②にて記載したワーキンググループにより住宅生産のパッケージ化や合理的な建築方法の検討を行う。	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：メンバー間での調整。合理化事例の報告、勉強会の開催等。	○
b.	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：役員会を中心に施工グループの代表にて協議し、施主より信頼される湘南プレミアハウスの一般施工基準を作成することを目指す。これを順守することで、未経験工務店による住宅も一定レベルの品質が保たれるべく、基準作成を行う。	○
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：①に定めた基準が遵守されているか確認するためのルールを検討する。外部機関に検査委託することを含めて検討する。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない	□ ある →	内容：	
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：住宅生産現場の「見える化」を行い、住宅施主からの信頼の醸造に努める。①木材・建材の生産工程（山林・製材工場・プレカット工場）への施主への公開を行う。②建築現場については「現場見学会」を行うことで一般消費者への認知度を高め、同時に施主の安心感を醸造する。③一般消費者向けにホームページを作成する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）「湘南プレミアハウス」	（地域型住宅供給対象地域）神奈川県・東京都・静岡県・千葉県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）湘南プレミアハウス連絡協議会	（結成年）2012　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0499-0295	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない　■ ある → 内容：全ての物件について、物件ごとに各社が登録している履歴管理サービスを使用し、履歴を保存する。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	□ ない　■ ある → 内容：各社にて任意のサービス機関を活用する。	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない　■ ある → 内容：登録したことが証明できる書類を事務局に提出する。	◎
	② メンテナンス基準の整備		
	②-1 点検の共通ルール	□ ない　■ ある → 内容：長期優良住宅の点検規則に則した湘南プレミア維持管理表により実施する。	◎
	②-2 補修の共通ルール	□ ない　■ ある → 内容：湘南プレミア維持管理表により実施する。	○
	②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない　■ ある → 内容：湘南プレミア維持管理表により実施する。	○
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない　■ ある → 内容：全体会議等で勉強会を行う。各社がイベント等で施主向けの勉強会を実施する。	○
	③-2 DIY体験会等の実施	□ ない　■ ある → 内容：各社がイベント等で施主向けの体験会を実施する。	○
	③-3 その他の相談会等の実施	□ ない　■ ある → 内容：各社がイベント等で施主向けの相談会を実施する。	○
	④ 維持管理委員会等の設置	□ ない　■ ある → 内容：施工メンバーが中心となり設置。勉強会や事例説明等を行うべく努力する。	○
	⑤ その他の維持管理の手法	■ ない　□ ある → 内容：	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない　■ ある → 内容：グループの構成員が万が一倒産廃業した際の引継ぎ方法などの方法について協議する。	○
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない　■ ある → 内容：各社がもつ経験値やノウハウを全体会議の場で互いに発表する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		（1）適切な点検ルールや住宅診断のルールについてグループとして検討する。 （2）メンテナンスやリフォームの基準について、従前のチェックシートを充実させるべく、役員会・勉強会で検討する。	○

エ．グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない　■ ある → 内容：会長・副会長が主導し勉強会を実施する。メンバーであるJKサポートセンターも協力する。	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	□ ない　■ ある → 内容：長期優良住宅の施工基準を満たすため、第3者による施工検査や自社による施工検査を行う。	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない　■ ある → 内容：グループ独自に作成する湘南プレミアチェックシートにて確認する（事務局提出）	○
	③-1 需給計画の策定	□ ない　■ ある → 内容：グループ内で情報交換を行い、川下である施工者から川上の原木供給者まで需給把握を行う。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	□ ない　■ ある → 内容：グループ内の先進的な建築物を見学すること、また施工者を講師とした勉強会開催を行う。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない　■ ある → 内容：それぞれの業種で技術の研鑽に励み、合理化努力を行う。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　44　今年度の参加目標人数　8	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　20　今年度の参加目標人数　9	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない　■ ある → 内容：事務局にて講習スケジュールを紹介、参加を促す。参加者を確認する。	◎
c	① 新たな技術等の導入	□ ない　■ ある → 内容：メンバーであるJKサポートセンターや建材メーカーと協働し、新技術を学ぶ。	○
	② 新たな技術等の開発	□ ない　■ ある → 内容：メンバーであるJKサポートセンターや建材メーカーと協働し、新技術開発に挑戦する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		●省エネ技術講習会に参加・未参加について事務局にて管理し、参加を求める。 ●省エネ技術講習会実施主体と連携を図り、より多くの人員が参加するように協力する。 ●当グループの構成員が建築する建築物のより多くがBELS制度による表示を行う様、努力する。事務局・役員会はBELS制度についての勉強会を実施するなど、標準化に向けた努力を行う。	○

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）「湘南プレミアハウス」	（地域型住宅供給対象地域）神奈川県・東京都・静岡県・千葉県	
2．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）湘南プレミアハウス連絡協議会	（結成年）2012 年	
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0499-0295		

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	①土台及び柱には地域材として指定した「かながわ県産木材」のヒノキ（丹沢桧）を利用する。 ②内装仕上材の一部には地域材である「かながわ県産木材」を利用する。 ③構造用合板には神奈川県出材のBC材を利用した「丹沢箱根ヒノキ合板」を積極利用する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位 (必須)	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：■ 使用していない　□ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：□ 使用していない　■ 使用している	
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	（1）＜構造材等＞原木調達（神奈川県森林組合連合会林業センター・秦野市森林組合・厚木市森林組合）➡製材・プレカット(株式会社市川屋）➡施工メンバーという地域材のフローにて、地域材の流通経路を極度に簡素化及びウッドマイレージの大幅削減が可能になっている。 （2）＜合板＞神奈川県産ヒノキ合板については原木調達（神奈川県森林組合連合会）➡製材集成材等製造業者（林ベニア）➡流通（神奈川県森連）➡プレカット(㈱市川屋）➡施工メンバーとなる。 （3）＜補足説明＞ ①土台及び柱にはかながわ県産ヒノキ（丹沢桧）を使用することとしている。 ②構造材の他、野地板や床合板に「丹沢・箱根ヒノキ合板」たる神奈川県産原木を利用した合板を利用しており、低質材の活用に寄与している。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：製材業者が原木供給事業者と密に情報交換を行い、原木情報をタイムリーに把握。役員会や勉強会にて製材・プレカット業者より原木出材状況、製品在庫の報告が行われる。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	■ ない　□ ある →　内容：	
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：各社の建築予定を基に需要量の確認を行っている。年間使用予定約400㎥。	◎
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：施主に畳の良さをPRし、使用を勧める。活用事例を互いに報告する。	○
	①-2 和瓦の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：施主に和瓦の特徴を説明、使用を勧める。活用事例を互いに報告する。	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：設計に積極的に取り入れる。活用事例を互いに報告する。	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：設計に積極的に取り入れる。活用事例を互いに報告する。	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：地域の伝統的素材についてグループ勉強会にて紹介する。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：地域の伝統的意匠についてグループ勉強会にて紹介する。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：伝統的デザインについて役員会等で研究し、全体会議等の場で紹介する。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：海に面し、古都鎌倉を抱える湘南地域の伝統的住まい方を検証し、継承手法を議論する。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：各都市が定める景観条例等（例えば鎌倉市の景観条例等）を遵守する。各住宅において生垣を作成可能な場合は作成し、景観緑化に努める。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：針葉樹（国産針葉樹）を利用した床板、天井、真壁和室等、和風テイストのデザインを施主に提案する努力を行う。使用事例を互いに報告する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		○神奈川県の県土の4割が森林であり、当グループは同森林より出材する木材を積極利用することで、神奈川の森林・林業・木材産業の活性化や雇用促進、神奈川県への環境貢献（水源地への貢献）等を目指している（必須要件）。 ○大工技術の継承のため、物件によってはプレカットを利用せず、手刻みによる構造材加工も可能とする。「手刻み加工」による地域型住宅の供給も可能とする。 ○プレカットグループにて需要動向を把握、製材グループと話し合い在庫量の調整を行う。	○

カ．その他

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	新築時に施主への記念品として、被災地の産品を差し上げるなど、何らかの形で被災地の復興の一助になるよう方針を検討する。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	新築時に施主への記念品として、被災地の産品を差し上げるなど、何らかの形で被災地の復興の一助になるよう方針を検討する。	○

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）「湘南プレミアハウス」	（地域型住宅供給対象地域）神奈川県・東京都・静岡県・千葉県
２．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）湘南プレミアハウス連絡協議会	（結成年）2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0499-0295	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

＜認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅・ゼロエネルギー住宅・優良建築物の共通の特徴＞
（1）低炭素社会の実現のため、湘南地域のモデル的住宅・建築物の建築を目指す。
（2）湘南地方に特有の豊かな自然エネルギーを活用した「パッシブ技術」の導入を積極的に行う。
（3）主要構造材の過半に地域材（かながわ県産木材木材）を利用する。そのことがウッドマイレージ短縮により、低炭素社会実現の一助となる。
（4）近い将来、BELS制度を建築全棟に活用するべく、勉強会を開催していく。
●認定低炭素住宅の特徴
（1）当グループでは、節水や雨水利用を重視し、雨水タンクの設置を標準仕様に取り入れる。
（2）認定低炭素住宅においてもBELS制度による評価を行うこととする。
●優良建築物
（1）公共的性格を持つ建築物（グループホーム等）を建築する場合にはBELS制度による評価を行うこととする。省エネ性能について積極的に表示する。（努力目標）
（2）できうる限り雨水タンクを利用する。
（3）神奈川県の森林循環のため、ヒノキ構造用合板（丹沢・箱根ヒノキ合板）を内装材や下地材に利用する（努力目標）。
●性能向上計画認定住宅
（1）性能向上計画認定住宅においては、できうる限りBELS制度による評価を行う（努力目標）。
●ゼロ・エネルギー住宅
（1）UA値0．59以下を目標とする。
（2）伝統住宅の特徴である「庇」により夏季日射取得を低減し、性能計算に反映させるものとする（努力目標）。
（3）屋根断熱により、勾配天井の広がりや、梁の表し等により、湘南にあったナチュラルテイストの空間にすることを目標とする。
（4）湘南プレミアゼロ5型、同6型については、BELS制度により、省エネ性能を評価・見える化し、適切な住宅を作る。
その住宅性能については、建築主（施主）に十分説明し、見込み客などにもその性能を理解してもらう様努力する。
＜補足説明＞
●高度省エネ型についてはそれぞれの法的要件を満たし、且つ湘南プレミアハウスの建築条件のうち「地域材基準」を満たせば良いこととする。
具体的には主要構造材のうち50％以上に地域材を使用することを、満たせば良い。

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。